

# 剣淵町観光振興ビジョン

平成28年

北海道 剣淵町

# もくじ

I	はじめに.....	1
II	剣淵町をとりまく観光動向 .....	2
1	北海道の観光動向 .....	2
2	上川総合振興局の観光動向 .....	4
3	剣淵町の観光動向 .....	5
III	現状と課題の分析.....	6
1	剣淵町（内）の内部環境に関すること .....	6
(1)	立地や交通に関すること .....	6
(2)	観光につながる取り組みについて .....	7
(3)	観光施設について .....	8
(4)	交流について .....	9
2	剣淵町（内）を取り巻く外部環境に関すること .....	10
(1)	北海道内 .....	10
(2)	日本全国 .....	11
3	まちづくりアンケートからみた町民の意識、ニーズ .....	12
IV	これからの剣淵町の観光.....	14
1	剣淵町にとって、観光とは何か.....	14
2	剣淵町の観光がめざすもの .....	15
(1)	剣淵に、活力と潤いをもたらす観光.....	15
(2)	持続可能な観光 .....	15
(3)	町民の住み良さ、楽しさにつながる観光.....	15
(4)	こころあたたまる、人にやさしい観光 .....	15
(5)	また来たよ、という人が増える観光.....	15
3	観光振興の取り組み方針 .....	16
(1)	観光資源の魅力を高め、増やす.....	16
(2)	観光をつなげる .....	16
(3)	観光客を呼び込む .....	16
(4)	町外に情報発信する .....	16
4	体系図.....	17
V	取り組み内容.....	19
1	観光資源の魅力を高め、増やす.....	19
(1)	既存施設の環境向上、機能向上.....	19
①	道の駅の環境向上、ハイウェイオアシス化に向けた取り組み.....	19
②	レークサイド桜岡の環境向上 .....	19
③	絵本の館の環境向上 .....	19
(2)	剣淵の食の活用 .....	20

①食をいかしたお土産づくり .....	20
②食が楽しめる場や機会の充実 .....	20
(3) 他の分野との連携 .....	21
①民間企業と連携した観光の振興 .....	21
②農業と連携した観光の振興 .....	21
③福祉と連携した観光の振興 .....	21
(4) 新たな観光資源の発掘、創造 .....	22
①新たな立ち寄り&撮影スポットづくり .....	22
②新たな観光を考える機会の充実 .....	22
2 観光をつなげる .....	23
(1) 町内での滞在を楽しんでもらう交通手段、情報提供、企画の充実 .....	23
①マイカー以外の移動手段の充実 .....	23
②観光案内標識（サイン）の充実 .....	23
③町内の滞在や周遊を促す情報提供、企画の充実 .....	23
④サイクリングやウォーキングのコース設定、普及 .....	23
(2) 観光推進体制の強化 .....	24
①剣淵町の観光を地域ぐるみで推進する体制づくり .....	24
②観光振興を担う人材・ネットワークの拡充 .....	24
③観光を応援するサポーターづくり .....	24
④広域観光の推進 .....	24
3 観光客を呼び込む .....	25
(1) 来訪を促すイベントの開催 .....	25
①道の駅でのイベントの開催 .....	25
②絵本にちなんだイベントの開催 .....	25
③農業や食にちなんだイベントの開催 .....	25
④イベントの見直し、新たなイベントの開催 .....	25
(2) ツアー、合宿の誘致 .....	26
①海外からの観光ツアーの誘致 .....	26
②テーマ別観光によるツアーの誘致 .....	26
③合宿の誘致 .....	26
4 町外に情報発信する .....	27
(1) インターネットやメディアを通じた情報発信 .....	27
①町内の通信環境の向上 .....	27
②インターネット上での情報発信 .....	27
③国内メディアの活用 .....	27
④町外での情報発信 .....	27
⑤外国人向けの情報発信の推進 .....	27
(2) 特色ある取り組みを通じた情報発信 .....	28
①農産物を通じた情報発信 .....	28
②絵本を通じた情報発信 .....	28
③映画を通じた情報発信 .....	28
(3) ネットワークの活用した情報発信 .....	29
①剣淵町ゆかりの人や企業等を通じた情報発信 .....	29
②キャラクター等をいかした情報発信 .....	29
③広域連携による情報発信 .....	29

# I はじめに

---

平成 28（2016）年 3 月、国は「明日の日本を支える観光ビジョン」を公表し、平成 32（2020）年の訪日外国人旅行者数の目標値を 2,000 万人から 4,000 万人に大幅に引き上げました。

北海道では、平成 27（2015）年度の来道外国人観光客数が 208 万人に達するなど、目標としていた 300 万人が視野に入ってきたことから、国と同じく平成 32（2020）年度を目途に外国人観光客 500 万人という目標を掲げています。

剣淵町は、基幹産業である農業を中心に産業振興を進め、農業のまちとして歩んできました。雄大な自然や絶景など北海道観光を代表するような観光スポットはなく、本町を訪れる観光客は有名観光地に比べると、多いとはいえません。

しかしながら、近年北海道を訪れる外国人観光客の増加もあいまって、レークサイド桜岡や道の駅「絵本の里けんぶち」を訪れる人は増えており、新たに誕生した「ビバアルパカ牧場」も人気の観光スポットとなっています。

さらには、通過型観光から滞在型観光へ、「モノ消費（買い物中心）観光」から「コト消費（体験中心）観光」へと、外国人観光客に限らず、観光の形態やニーズが移行しているなか、剣淵町においても、町内の観光資源をもっと有効に活用し、滞在を楽しんでもらう観光を振興しようという気運が高まっています。

このような背景から、剣淵町で取り組むこれからの観光について、どのような位置づけで取り組むか、どのような方向性で取り組むか、どのように取り組むかなどを示し、剣淵町民や剣淵町の観光に携わるすべてのみなさんと共有し実行していくために、「剣淵町観光振興ビジョン」を策定しました。

このビジョンの位置づけなどについては次のとおりです。

- 
- 剣淵町の観光を進めるうえで基本となる計画です。
  - 計画期間は定めていませんが、すぐに取り組めることだけでなく、中長期的には実現したい内容も示しています。
  - 剣淵町の最上位計画である「総合計画」の見直しをはじめ、必要に応じて内容の見直しを行うこととします。
  - 剣淵町（役場）が主体となって取り組むだけでなく、民間事業者の方々や町民のみなさんの参加・協力により進めていきたいことも示しています。
  - 剣淵町だけでなく、近隣の市町村など、広域的な体制で取り組むことを想定した内容も示しています。
-

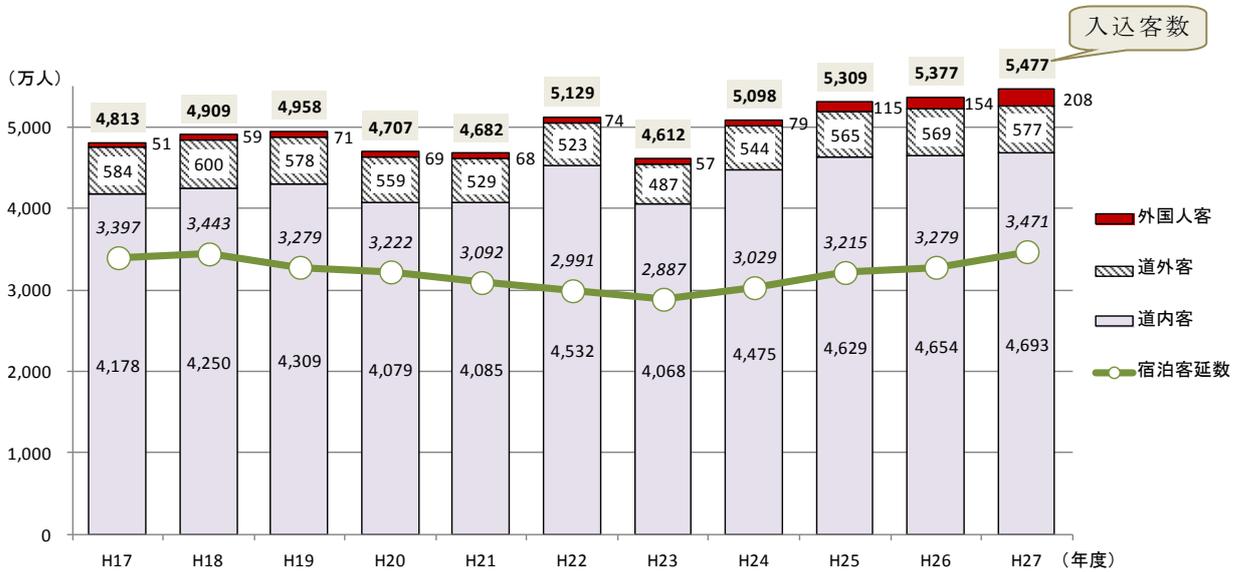
## Ⅱ 剣淵町をとりまく観光動向

「北海道の観光統計」をもとに、剣淵町を取り巻く観光動向をとりまとめると次のとおりです。

### 1 北海道の観光動向

北海道を訪れる観光入込客総数は、平成 23（2011）年度に東日本大震災の影響などで落ち込んだものの、その後増加を続けており、平成 27（2015）年度には 5,477 万人となっています。このうち、外国人客は 208 万で、日本を訪れる外国人の約 1 割を占めています。

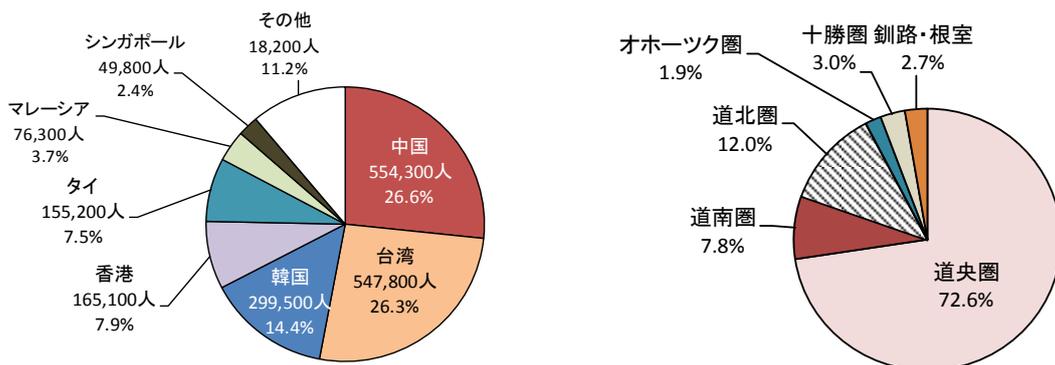
北海道の観光入込客数の推移



平成 27（2015）年度に北海道を訪れた外国人の国別割合をみると、中国と台湾がほぼ同率で、この 2 国で半数以上を占めています。

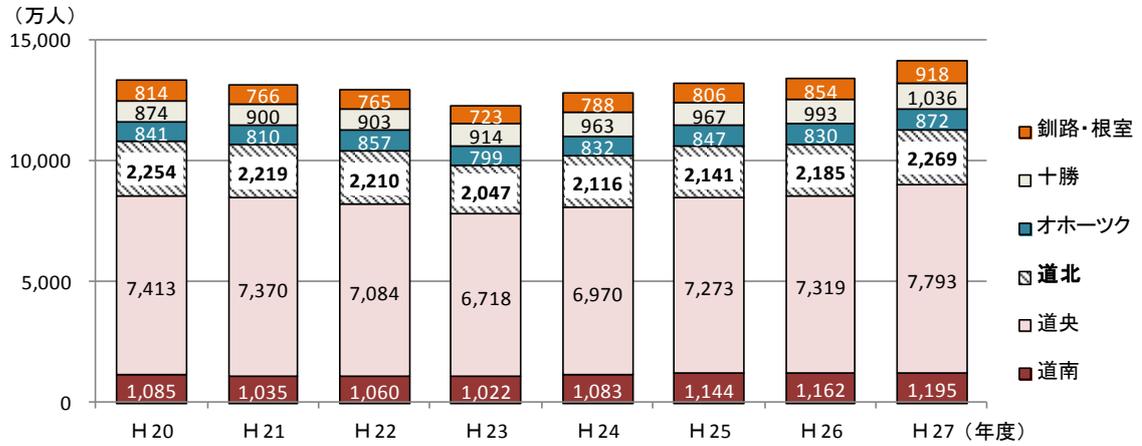
また、外国人が訪れた地域を圏域別に見ると、道央圏が 7 割以上を占め最も多く、次に道北圏が続きます。

北海道を訪れた外国人の国別割合と訪れた地域

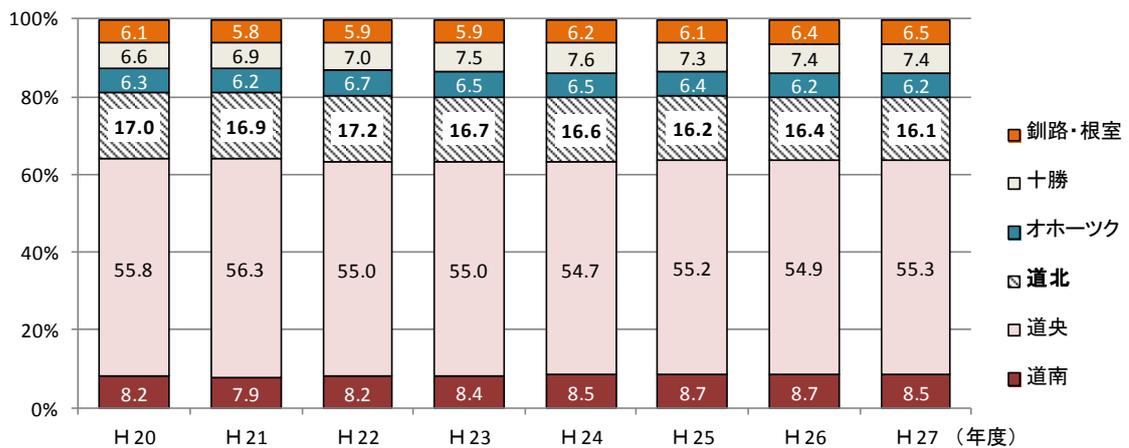


北海道を訪れる観光入込客総数を圏域別にみると、最も多いのが道央で、次に道北が続きます。圏域別割合については、年度による大きな変化はありません。

北海道の観光入込客総数の推移（圏域別）



北海道の観光入込客総数の圏域別割合の推移

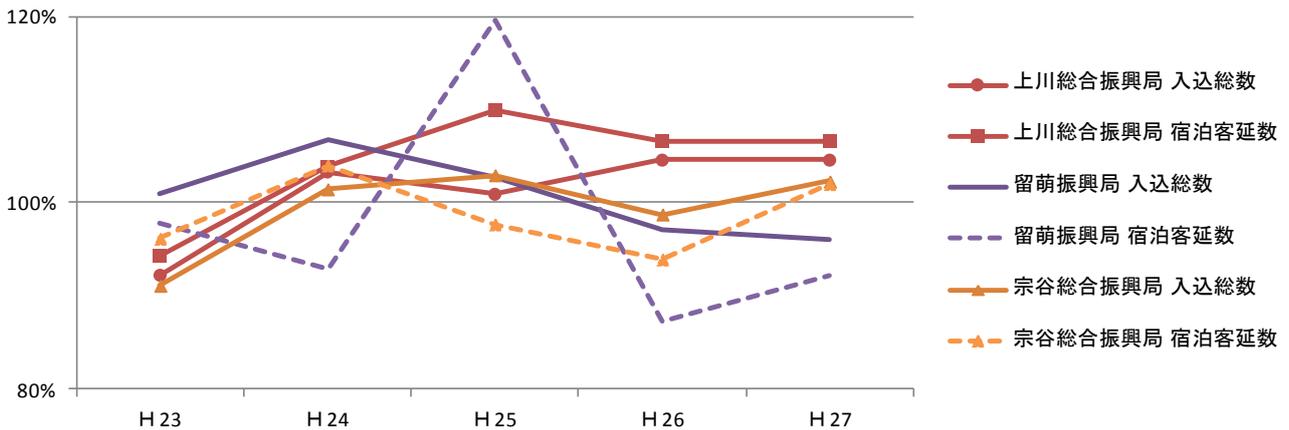


## 2 上川総合振興局の観光動向

平成 27（2015）年度に道北圏を訪れた観光入込客総数は 2,268 万人で、そのうち 85.8%は上川総合振興局が占めています。

道北圏を構成する上川・留萌・宗谷の振興局別に観光入込客総数と宿泊客延数の推移をみると、上川総合振興局は、平成 24（2012）年度以降、観光入込客総数、宿泊客延数ともに増加を続けています。

道北圏における振興局別の観光入込客総数と宿泊客延数の前年度比率の推移



また、上川総合振興局を構成する市町村の、観光入込客総数の前年度比率の推移をみると、剣淵町は、平成 24（2012）年度に前年度よりも減少したものの、その後は前年度よりも増加の傾向を維持しています。

上川総合振興局内の観光入込客総数の前年度比率の推移

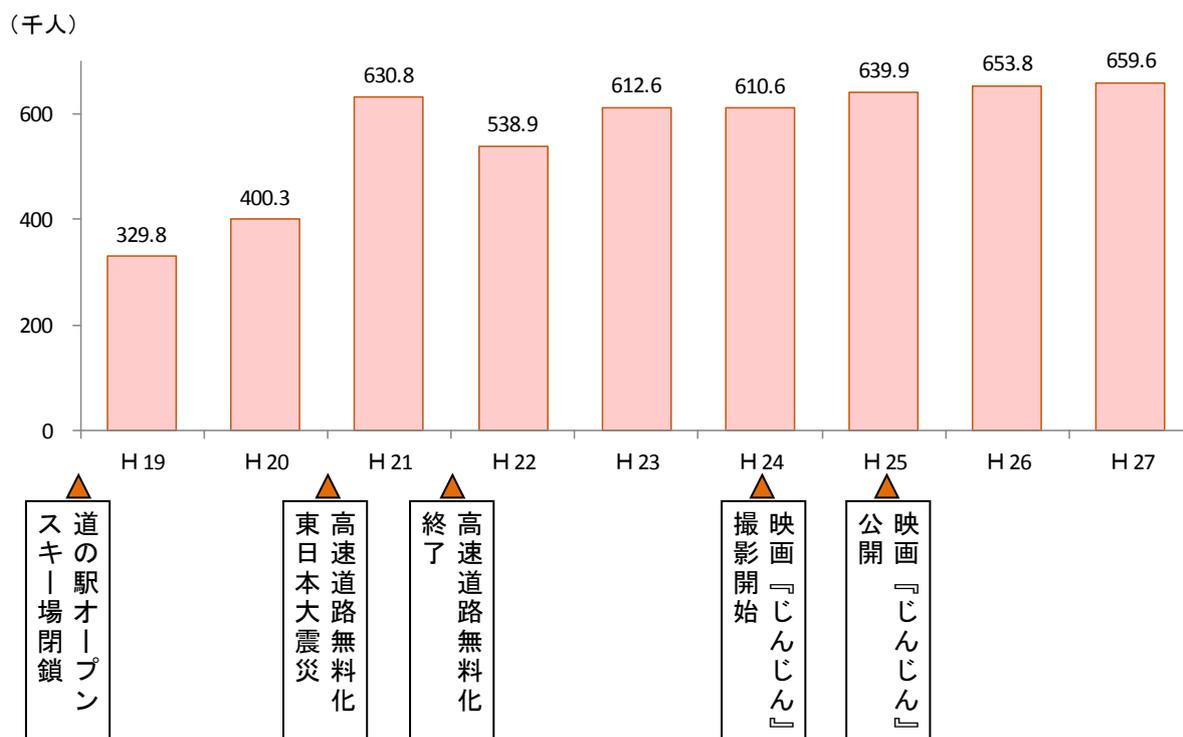
※網掛けは、前年度より増加したことを示しています。

市町村名	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27
旭川市	89.1	106.5	92.5	103.4	103.4
士別市	97.9	107.0	107.9	100.9	100.9
名寄市	103.4	88.0	73.5	88.5	88.5
富良野市	96.8	103.2	99.4	109.2	109.2
鷹栖町	181.8	83.5	88.9	108.3	108.3
東神楽町	93.6	94.6	96.5	95.0	95.0
当麻町	91.8	103.6	108.4	105.0	105.0
比布町	99.9	102.9	106.4	97.8	97.8
愛別町	118.5	101.5	104.4	100.5	100.5
上川町	85.3	105.3	112.7	103.1	103.1
東川町	99.2	102.6	105.1	126.6	126.6
美瑛町	88.8	117.8	112.2	94.8	94.8
上富良野町	85.1	113.4	96.7	91.2	91.2
中富良野町	82.6	114.1	109.6	113.0	113.0
南富良野町	99.2	103.8	98.9	109.3	109.3
占冠村	94.4	78.3	109.1	113.4	113.4
和寒町	74.4	97.3	99.5	108.1	108.1
剣淵町	114.9	99.7	104.8	100.9	100.9
下川町	106.1	92.7	207.0	168.0	168.0
美深町	95.0	97.7	98.8	101.2	101.2
音威子府村	94.7	96.7	99.7	98.1	98.1
中川町	80.3	109.3	98.2	97.2	97.2
幌加内町	88.0	99.9	123.0	99.3	99.3

### 3 剣淵町の観光動向

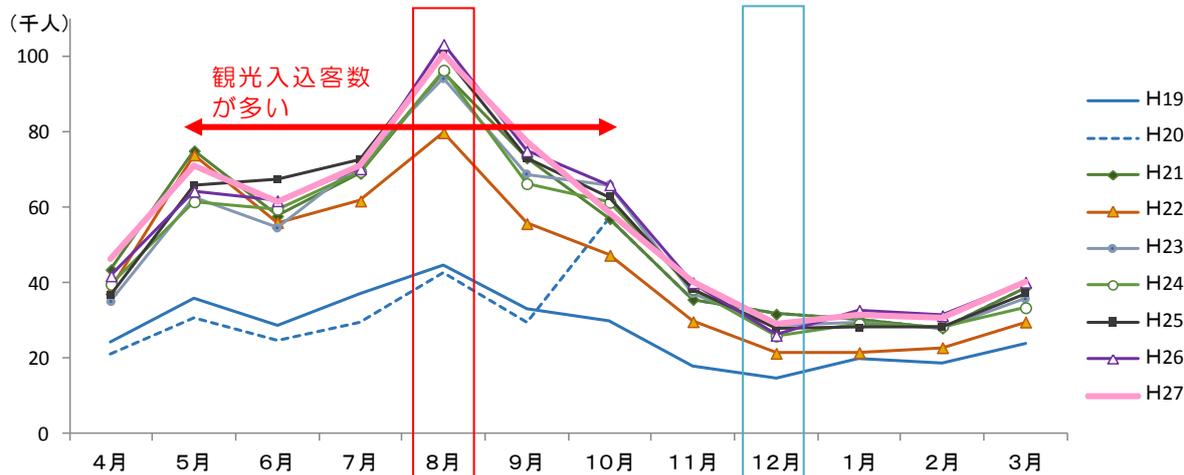
剣淵町の観光入込客総数の推移をみると、高速道路の無料化が行われた平成 21 (2009) 年度に 60 万人をこえた後、翌平成 22 (2010) 年には減少しましたが、その後再び 60 万人をこえ、増加の傾向にあります。平成 27 (2015) 年度の観光客入込総数は 65 万 9,600 人です。

剣淵町の観光入込客総数の推移



平成 19 (2007) 年度から平成 27 (2015) 年度までの剣淵町の月別観光入込客総数の推移をみると、平成 20 (2008) 年を除いて 1 年間で最も多いのは 8 月です。一方、最も少ない月は平成 24 (2012) 年度以降 12 月で、5 月から 10 月に観光入込客総数が集中しています。

剣淵町の月別観光入込客総数の推移



### Ⅲ 現状と課題の分析

剣淵町の観光資源を示しつつ、観光振興の面から、現状における可能性・課題の整理を「SWOT分析」によってまとめてみると次のとおりです。

#### 1 剣淵町（内）の内部環境に関すること

##### (1) 立地や交通に関すること

###### プラス面・優れている面

- ・道北の中核都市で観光拠点でもある旭川市の北方に位置し、旭川市中心部から約 45 km、旭川空港から 60 km 弱の距離に位置します。
- ・旭川市から稚内市を結ぶ国道 40 号に接しているほか、函館市を起点に札幌市や旭川市を経て稚内市にいたる高速道路「北海道縦貫自動車道（道央自動車道）」が通り、土別剣淵と和寒の 2 つのインターチェンジが利用できることから、札幌・稚内両方面からアクセスしやすい道路環境にあります。
- ・町内には旭川と稚内を結ぶ鉄道路線「宗谷本線」が通り、「剣淵駅」「北剣淵駅」「東六線駅」の 3 つの駅があります。
- ・道央自動車道と「道の駅 絵本の里けんぶち」の距離が直線で 150m と近いこともあり、高速道路と道の駅を結び、高速道路の利用者が道の駅を利用できるようにする「ハイウェイオアシス化」に向けた協議が進められています。
- ・平成 28（2016）年にクロスバイクを購入し、レンタサイクルを開始したほか、「けんぶちサイクリングマップ」を作成、サイクリングツアーの開催などが行われました。



###### マイナス面・劣っている面

- ・札幌を中心とした道央圏から離れており、北海道観光の中では、観光入込数は少ない状況です。
- ・町外からの道の駅利用者は多いですが、道の駅だけの利用者が多く、いわゆる通過型となっています。
- ・市街地の中心部（商店街など）が国道から離れた箇所であり、町外者の立ち寄りが多い道の駅も離れているため、観光客がまちなかに来ることは少ない状況です。
- ・道の駅、レークサイド桜岡周辺、アルパカ牧場、絵本の館などの観光関連施設が点在する形で立地しています。
- ・町内を移動できる公共交通手段としては町で運行しているバスがありますが、観光客が利用することは難しく、マイカーがないと町内の移動が難しい状況です。

## (2) 観光につながる取り組みについて

### プラス面・優れている面

- ・昭和 63 (1988) 年、講演会で“道北の小さな農村らしい、都会ではできない文化のまちとしての歩み”が提案され、児童書編集長との出会いがあり、絵本の里づくりが始まりました。以来、剣淵町は『絵本の里けんぶち』と表現するようになり、町外でも認知度はだんだんと広がっています。地域ぐるみで「絵本の里」をイメージする景観づくりを進めてきたほか、絵本に関するイベントも定着しています。
- ・「けんぶちふるさと絵本賞」を受賞した「ムーニャとほしのたね」は、タイ語やロシア語に翻訳され海外での町の PR になっています。
- ・農業が基幹産業である剣淵町は、農村の風景（畑の景観）が美しく、映画の舞台となったこともあり、観光スポットとしても紹介されています。また、米やじゃがいも、かぼちゃ、豆類をはじめ、品質の高い農作物が生産されており、特産品やグルメ開発の素材としてさまざまな利用方法が可能です。有機栽培による農作物づくりも定着しています。
- ・平成 25 (2013) 年から 3 年間、じゃがいもを剣淵町の名産品として積極的に PR する「じゃがいもプロジェクト」に取り組み、PR マスコット「ぶっちいーも」やプロジェクトソング「じゃがけんぽい」が誕生しました。
- ・若手農業者が自分たちの農場で採れた野菜を軽トラで販売する「VIVA マルシェ」が町内外で活動しています。その結果、剣淵産の農産物が町外で知られる機会が増えています。
- ・絵本の里づくりが縁となって、剣淵町を舞台とした映画「じんじん」が作られました。映画の公開は「絵本の里けんぶち」がより多くの人に知られるきっかけとなり、絵本の館を訪れる町外者が増加し、観光施設としての位置づけが高まりました。

### マイナス面・劣っている面

- ・「絵本の里づくり」の取り組みは徐々に知られつつありますが、「剣淵町 = 観光地」というイメージはあまりなく、著名な観光資源もありません。
- ・農作物をそのまま道の駅等で販売することはありますが、加工品を販売、提供しているケースはまだ少ない状況です。素材は少なくありませんが、農産物を除き、来訪の目的となるような特産品（土産品）は定着していません。
- ・グルメ（食事）については、マップを作成するなど PR に努めていますが、情報発信力としてはまだ弱い状況です。
- ・全道的に外国人観光客が急増し、剣淵町では特にタイからの観光客が増えています。外国人向けの受け入れ環境整備が遅れています。

### (3) 観光施設について

#### プラス面・優れている面

- ・平成 3（1991）年、旧役場庁舎を改装し「絵本の館」が開館しました。「絵本の里」のシンボルとして親しまれていましたが、さらに多くの皆様に安全で使いやすく親しまれるよう平成 16（2004）年 6 月に現在の場所に新築移転しました。



- ・町内には、桜岡湖畔にあり、周囲を自然に囲まれた天然温泉入浴と宿泊ができる「レークサイド桜岡」があります。近くにはパークゴルフ場やキャンプ場もあり、春から秋に多くの人々が訪れるとともに、冬には桜岡湖でワカサギ釣りが楽しめます。道の駅と並ぶ、剣淵町の観光・交流拠点として重要な役割を担っています。



- ・平成 18（2006）年、道内で 93 番目の道の駅として、国道 40 号沿いに「道の駅 絵本の里けんぶち」がオープンしました。平成 27（2015）年で開業 10 年を迎え、北海道内の道の駅ランキング（北海道じゃらん調べ）では、平成 25（2013）年から 4 年連続 4 位となっています。近年はきた北海道観光の立ち寄り、インバウンドも増え、年間 52 万人以上が利用しており、売上も好況を保っています。



- ・平成 21（2009）年にペルー原産のアルパカが見学できる「ビバアルパカ牧場」がオープンし、新たな観光スポットとなりました。アルパカの見学だけでなく、牧場斜面を、夏はマウンテンバイクコース、冬はエアボード専用ゲレンデとして楽しめるようになっています。



#### マイナス面・劣っている面

- ・「レークサイド桜岡」のホテル部門は、夏期の稼働率は高いものの、冬期は低く、燃料費の高騰などもあり、経営改善が課題となっています。
- ・「レークサイド桜岡」には 1～2 人といった少数用の宿泊部屋が少なく、シングル利用を希望する宿泊ニーズに合っていない状況です。
- ・町内には観光施設等が点在しており、各観光ポイントに誘導する標識等も十分とは言えない状況です。初めての来訪者は目的地に到達するため苦慮する場合があります。

## (4) 交流について

### プラス面・優れている面

- ・平成2（1990）年にマツダの耐寒試験場が開設され、冬季の1月から2月まで耐寒試験が行われています。これを機にマツダとの交流が始まり、平成29（2017）年で30周年を迎える「剣淵・マツダとふれあう会」の活動などを通じて交流が続いています。近年は、道の駅では広島の特産品の販売、レストランでのメニューなどを通じて来訪者にもマツダと交流がある町としてPRしています。



試験場に町民の皆さまが集合



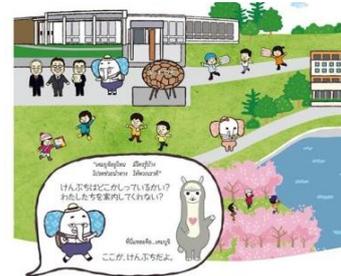
ビンゴゲームの景品をプレゼント



剣淵町道の駅でのカキフライ試食会

(株)マツダの  
ホームページより

- ・平成23（2011）年7月にペルー共和国パルカマヨ地区と、平成27（2015）年にはタルマ市と姉妹都市提携が行われました。
- ・士別・和寒・剣淵・幌加内の1市3町により、「食と観光」をテーマとした着地型観光の推進、台湾との交流促進など、広域連携による観光の取り組みが進んでいます。
- ・北海道を訪れる外国人観光客が増加するなか、平成27（2015）年より、タイからの観光客を増やそうとタイとの交流が始まりました。絵本の里という特徴をいかし、タイから絵本作家を招き、剣淵町はじめ道内の地域が出てくるタイ語の絵本「サワッディー北海道」を作成し、タイで出版したほか、タイ向けの情報発信、タイの旅行代理店の招聘などを通じて交流が広がっています。
- ・じゃがいもをPRする剣淵町と白老牛で商品開発を進める白老町が連携し、コロッケを商品開発したことを機に、白老町との交流が行われています。



### マイナス面・劣っている面

- ・冬季には耐寒試験のためマツダの技術者が長期滞在するなど、観光以外でも宿泊ニーズがありますが、希望どおり町内での宿泊を十分確保することが難しいこともあります。また、マツダの試験期間は、一般の宿泊希望者が宿泊できないなどの制約も見られます。
- ・外国人観光客に来てもらうための取り組みを進めていますが、外国人観光客を受け入れる環境として、外国語の併記などはあまり進んでいない状況です。

## 2 剣淵町（内）を取り巻く外部環境に関すること

### （1）北海道内

#### プラス面・優れている面

- ・北海道には「食」と「景観」を期待して観光に来る人が多くいます。北海道を訪れる観光客は平成 23 年度以降増加の傾向にあります。外国人観光客も増加傾向にある中、北海道では、外国人の来道者数(実人数)を平成 32 年度に 300 万人以上とすることを掲げ、推進しています。
- ・北海道を訪れる外国人観光客の国・地域別割合をみると、台湾と中国で約半数を占めますが、3 位以下の順番は、韓国、香港、タイとなっています（平成 27 年度）。タイについては、北海道を舞台とした映画が公開され人気となったこともあり、近年、観光客が増加しています。
- ・北海道は、道内 7 つの空港（国管理の新千歳・函館・釧路・稚内、道管理の女満別、地元管理の帯広・旭川）を一括して同じ事業者に運営を委託する方針を示しており、活性化が期待されています。
- ・ロシアとの経済交流を強化する動きがあり、観光への波及も期待されています。
- ・平成 28 年、新青森～新函館北斗間を結ぶ「北海道新幹線」が開通し、道内観光への波及が期待されています。
- ・JAグループ北海道は、北海道の食（道産農畜産物やその加工品）や農（農業、農村、農家）を応援する「サポーター550万人づくり」を展開しており、地域の食を広く情報発信するための取り組みを進めています。

#### マイナス面・劣っている面

- ・町内にある JR の駅は、いずれも無人駅です。JR 北海道は、厳しい経営状況が続く中、輸送密度が低い路線の廃止に向けた協議や、自治体への費用負担を求める協議を進めており、鉄道における利便性向上を求めていくことが難しい状況にあります。
- ・道内の多くの市町村が、地域活性化（地方創生）に向けて観光への取り組みを強化しており、道内市町村間での観光客誘致競争が激しくなっています。
- ・北海道新幹線の開通により来訪者の流れが道南に向かうようになり、航空路線が新千歳空港に一極集中していることは、きた北海道地域としてはマイナス面として受け止められることもあります。
- ・気候変動の影響もあり、道内各地でさまざまな自然災害が発生しています。観光地が被害を受けたり、それによって観光客の入込が減るなどの影響も出ています。

## (2) 日本全国

### プラス面・優れている面

- ・「和食」をはじめ、日本固有の歴史文化や自然環境が国際的に注目されるようになり、訪日外国人観光客数が増加しています。こうした中、政府は、訪日外国人観光客数の目標人数を、平成 32 年に 4 千万人、42 年に 6 千万人とすることを決め、ビザ発給条件の緩和や多言語表記導入支援などの取り組みを進めています。
- ・平成 32 年にオリンピック・パラリンピックが東京で開催されることとなり、外国人観光客が増える契機として期待されています。
- ・観光形態は、団体旅行から家族・小グループ旅行へ、パッケージ型の旅行から自分で組み立てる旅行へと観光形態の多様化が進んでいます。観光客が求める内容が多様化、個別化し、モノ消費(買物)だけでなく、コト消費(有意義な時間、体験など)を求める人が増えており、有名観光地以外でも工夫によっては誘客のチャンスが広がっています。
- ・ツアーにおいても「テーマ別観光」を企画する代理店が増えているほか、観光地が地元ならではのプログラムを企画し、参加者が現地集合、現地解散する「着地型観光」が増えています。
- ・健康への関心が高まる中、旅の目的にウォーキングやサイクリングを取り入れるなど、健康づくりを兼ねた観光が人気を集めています。
- ・グローバル化、情報化が進展する中、訪れた観光客が気に入ったものを SNS 等で情報発信し、その情報を見た人が訪れるという人の動きが増えています。SNS による情報発信が、観光振興を推進する大きな力になりつつあります。

### マイナス面・劣っている面

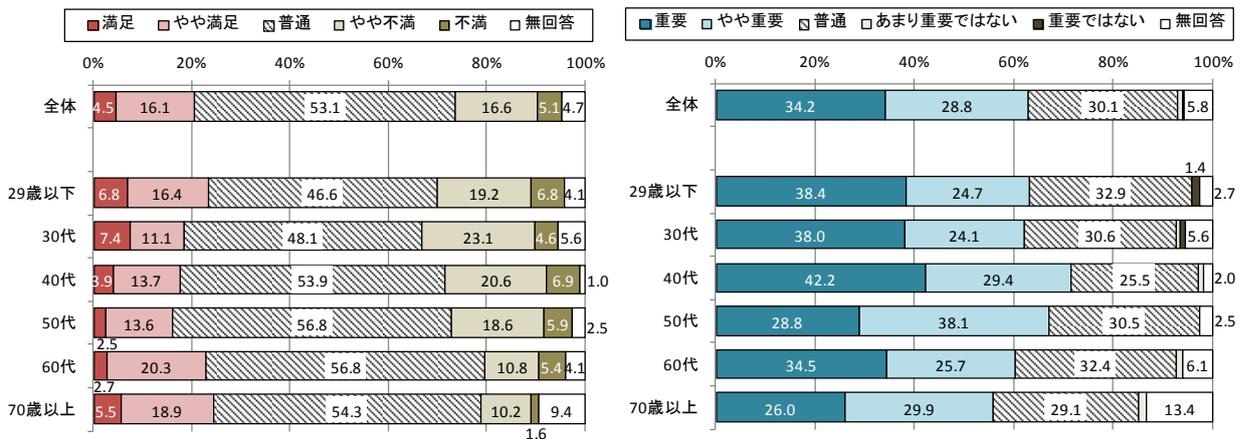
- ・日本全国の自治体が、地域活性化の促進として観光振興に力を入れており、自治体同士の競合が激化しています。
- ・人口減少と少子化・高齢化が進む中、観光客の減少、観光業の担い手不足などが懸念されています。
- ・現在は増加傾向にある外国人観光客ですが、グローバルな社会経済情勢や災害等によって、入込数に変動するリスクがあります。

### 3 まちづくりアンケートからみた町民の意識、ニーズ

平成 27 (2015) 年度に実施した町づくりアンケートでは、観光振興に関する満足度について、回答者全体では「普通」が約半数を占めていますが、年齢別で見ると、50 代以下の年代では「やや不満」が 2 割前後を占め、「不満」「やや不満」が「満足」「やや満足」を上回っています。一方、重要度は、「重要である」「やや重要である」といった重要性を求める回答が全体で 6 割以上を占めています。

剣淵町は農業主体の町ですが、観光に対する関心や重要性 (= 期待) は高いと伺えます。

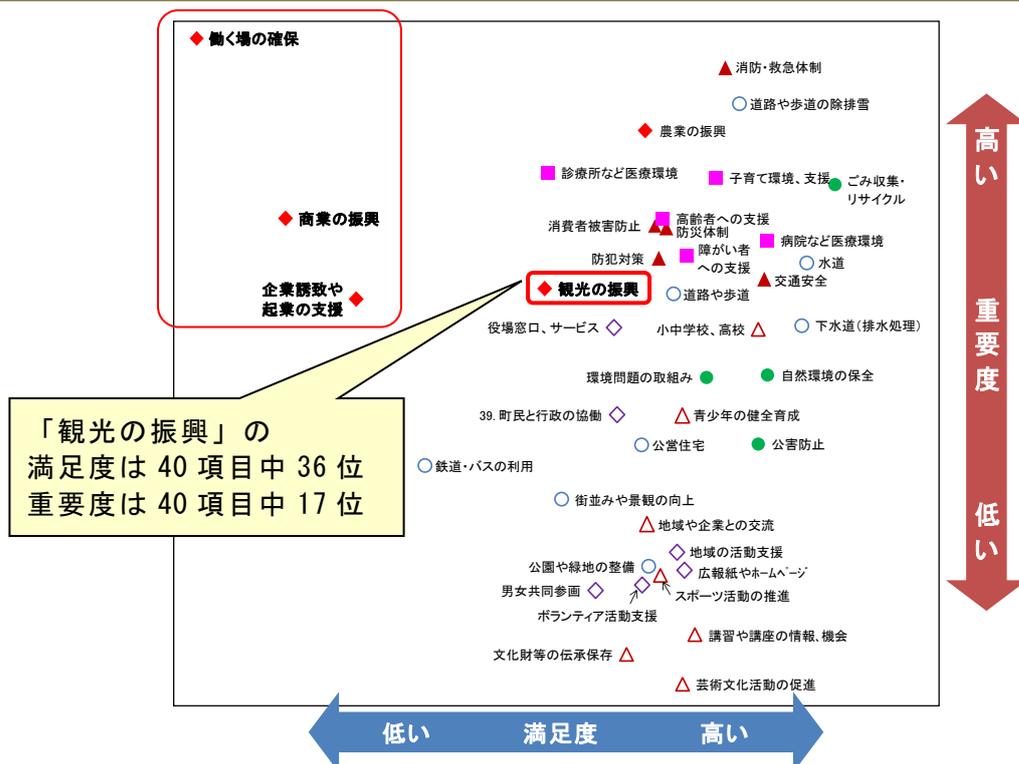
観光振興に対する町民の満足度と重要度



また、「観光の振興」の満足度・重要度を、まちづくり分野 (40 項目) と比較すると、40 項目中、満足度は 36 位、重要度は 17 位です。

産業の分野では「働く場の確保」「商業の振興」「企業誘致や起業の支援」は、「観光の振興」より満足度は低く、重要度は「観光の振興」と同様に高い位置づけです。

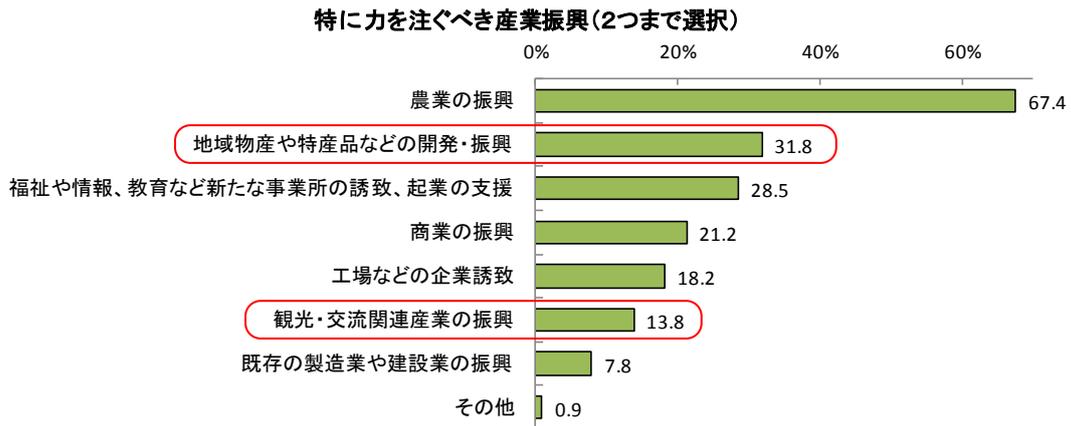
まちづくり分野全体の中での観光の振興の満足度と重要度の位置づけ



産業分野に関する設問では、基幹産業である「農業の振興」を重視する回答が最多であり、「観光・交流関連産業の振興」は比較的回答は少ないですが、「地域物産や特産品などの開発・振興」は、「農業の振興」に次いで回答が多くなっています。

町全体の産業振興の中では観光・交流関連産業の重要性は高くはありませんが、基幹産業である農業と関わりが深く、観光振興にも欠かせない、地域物産や特産品の開発・振興は重視されています。

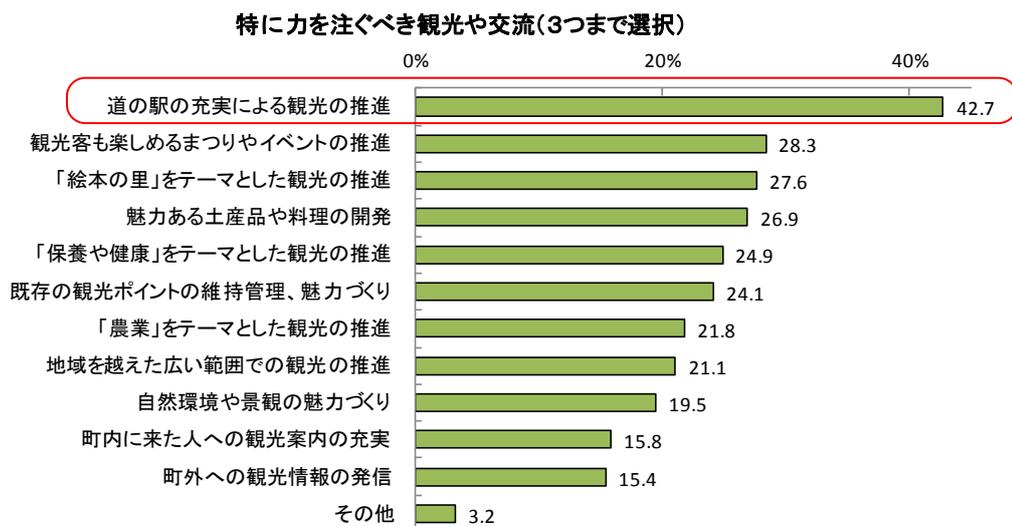
### 特に力を注ぐべき産業振興



観光や交流に関する設問では、特に力を注ぐことが望まれているのは、「道の駅の充実による観光の推進」です。

地域物産や特産品を開発・振興するうえでも重要な役割を担う道の駅の充実が望まれています。

### 特に力を注ぐべき観光や交流



## IV これからの剣淵町の観光

### 1 剣淵町にとって、観光とは何か

「絵本の里」は、対外的なキャッチフレーズではなく、剣淵町民が心豊かに住める町をめざし取り組んだ結果が、言葉となって表れたものです。

剣淵のまちづくりを進めるなかで、「絵本の里」であることは自然と町全体にいきわたり、安全安心な農業、地域に根づいた福祉など、目に見える取り組みとなって表れています。

観光も「絵本の里」であることが最も大きな“強み”であり、これからも、「絵本の里」であることと、そこから生まれた数々のまちづくりを栄養源（観光資源）にしながら、新たな取り組みを進めていくこととします。

そしてその結果、剣淵町全体が、もうひとまわり成長していくことをめざします。



## 2 剣淵町の観光がめざすもの

### (1) 剣淵に、活力と潤いをもたらす観光

より多くの観光客が来る町になることで、地域に活気が感じられる観光をめざします。

観光と他産業が結びつき、経済的な波及効果が地域全体に広がることにより、地域が潤い、また、観光によってもたらされた人・もの・情報が町民とつながることによって、町民の心が潤うことをめざします。

### (2) 持続可能な観光

観光を持続させるには「人の力」と「お金の力」が必要です。どちらかが途絶えても、継続できません。

受け入れる側が疲弊するばかりの観光や儲からない観光ではなく、剣淵町が有する固有の特性や資源を土台とした、地に足の着いた「観光業」が生業として成り立ち、観光に携わる人たちが育ち、引き継がれる観光をめざします。

### (3) 町民の住み良さ、楽しさにつながる観光

雇用の場の不足、人口減少など、地方自治体が抱える課題を解決しうるものとして、観光は注目されています。観光振興による効果がまちづくり全体に波及し、雇用の増加や移住・定住の促進など、剣淵町の課題解決につながったり、好影響を与えたりする観光をめざします。

また、住んでいる人が楽しく過ごせるまちは、観光地としても魅力的に映ります。町外から訪れる人たちがばかりでなく、剣淵町民が楽しめる観光をめざします。

### (4) ころあたたまる、人にやさしい観光

絵本の里づくりは、絵本とのふれ合いとともに、安全安心な農作物づくり、地域に根ざした福祉の取り組みとともに進められてきました。

剣淵町では、絵本の里らしく、子どもや親子、家族などにやさしい観光をめざすとともに、年齢や障がい、国籍を超えて、だれもが安心して楽しめることのできる観光、ころがあたたかくなる観光をめざします。

### (5) また来たよ、という人が増える観光

観光は一過性のブームに左右されることも多く、浮き沈みの激しい分野です。

一人でも多くの方に剣淵町を知ってもらい、来てもらうことをめざしつつ、その人たちがリピーターになってくれることを重視します。

その結果、剣淵町を気に入って何度も訪れてくれる人たちが増える観光をめざします。

### 3 観光振興の取り組み方針

これからの剣淵町の観光は、「いまあるものを、観光に活かす」「新たな観光を見つけだす&生み出す」「観光をつなげる」「観光客を呼び込む」「町外に情報発信する」の、4つの柱にそって進めます。

#### (1) 観光資源の魅力を高め、増やす

既存の観光資源の魅力をソフト・ハード両面から高めます。また、国内外の観光客が求める観光ニーズをふまえ、新たな観光資源を発見・創造することによって、観光の魅力を増やします。

#### (2) 観光をつなげる

町内の観光推進体制を強めるとともに、観光スポットが町内に点在し回遊しにくいことによって生じている課題を改善・解決し、より長く町内に滞在し、多くの魅力を感じてもらえるようにします。

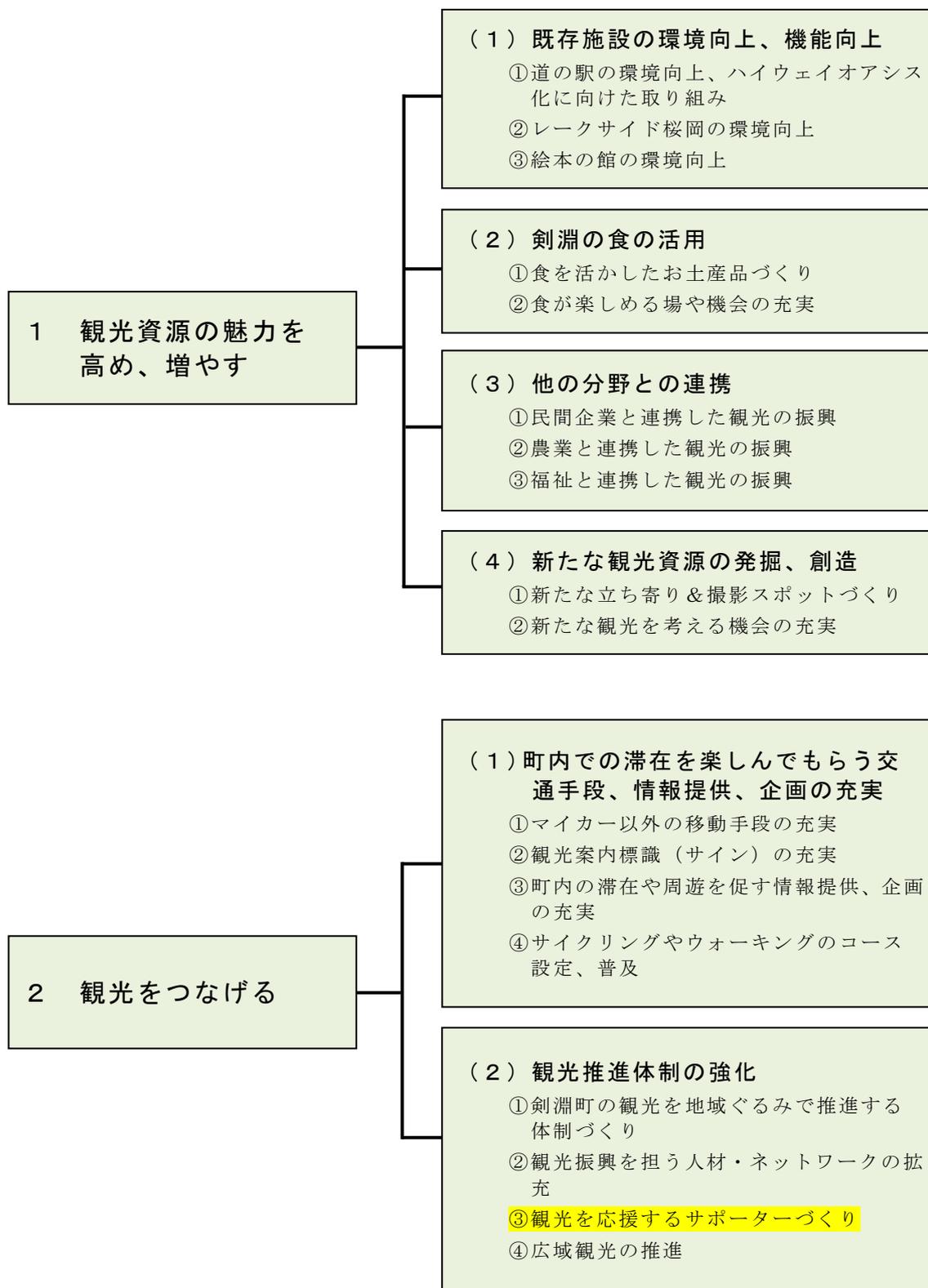
#### (3) 観光客を呼び込む

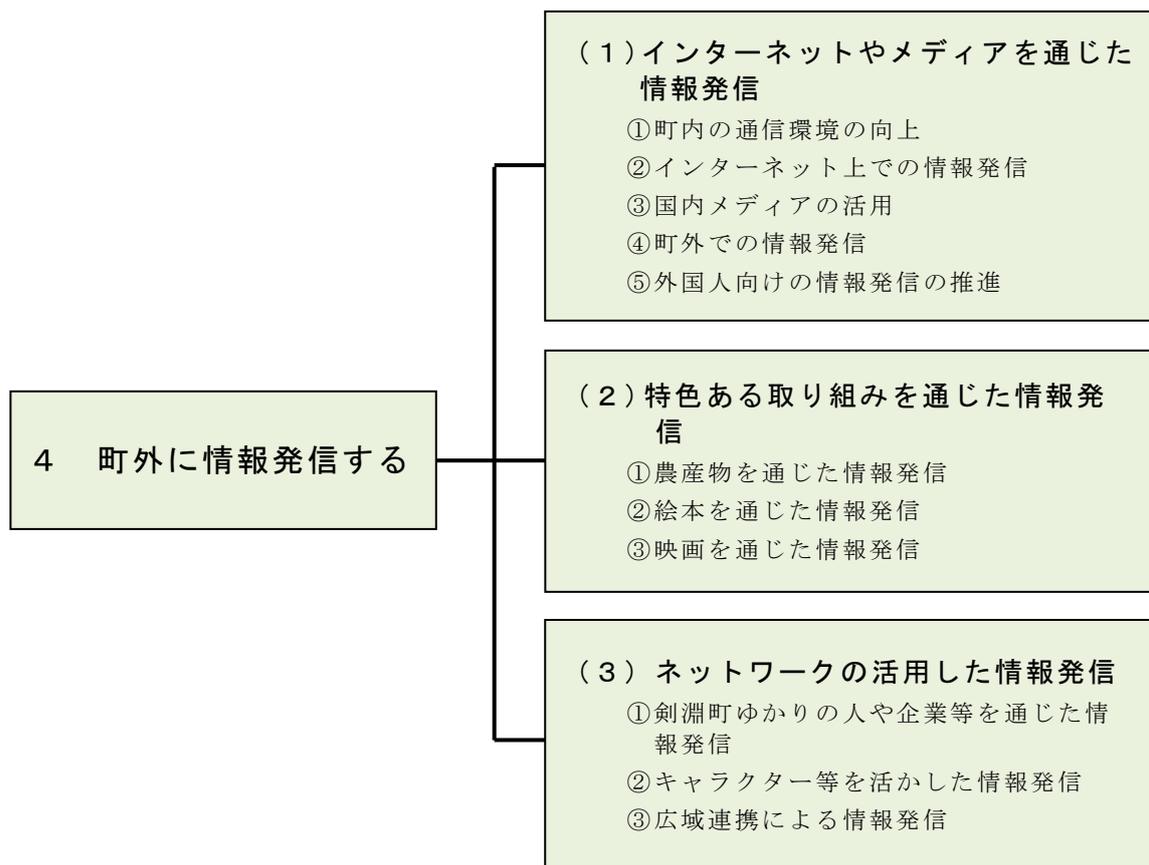
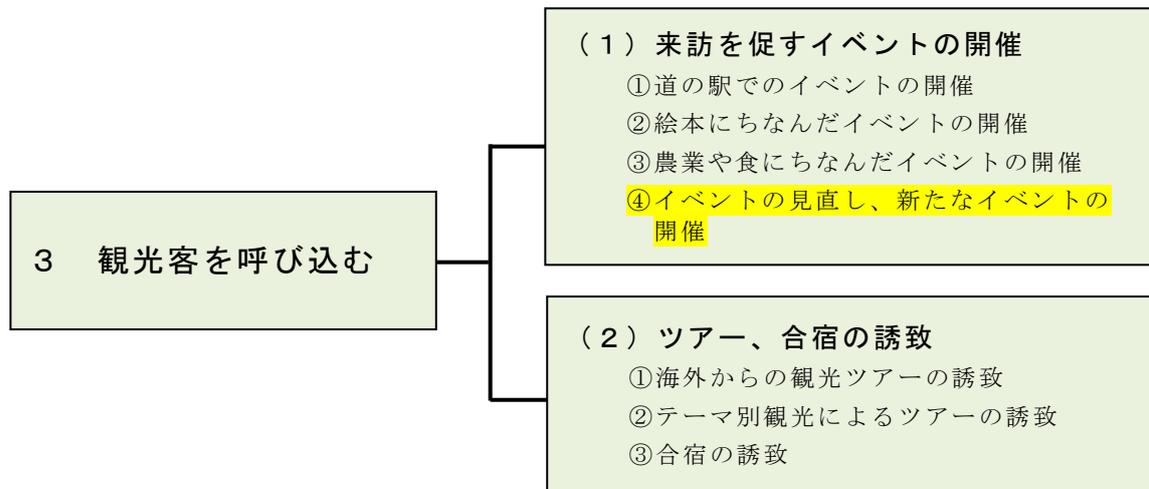
剣淵町を訪れるきっかけとなるイベントやツアー等の誘致によって、観光客を国内外から積極的に呼び込みます。

#### (4) 町外に情報発信する

剣淵町の魅力や観光の取り組みなどを、インターネットやメディア、農産物や絵本、本町が持つネットワークなどを通じて国内外に発信します。

## 4 体系図





# V 取り組み内容

## 1 観光資源の魅力を高め、増やす

### (1) 既存施設の環境向上、機能向上

#### ①道の駅の環境向上、ハイウェイオアシス化に向けた取り組み

必要に応じて、駐車や休憩、道路情報提供など道の駅としての機能を高めます。お土産コーナーやレストラン、農産物直売所などについては、ソフト・ハード両面から利用者の満足度を向上させ、売上を拡大します。

また、今後増加が予測される外国人観光客への対応もふまえた受入環境の充実に努めます。

一方、現在協議が進められているハイウェイオアシス化やスマートインターチェンジの整備に向けて、剣淵町としての取り組みを積極的に進めます。

#### ②レークサイド桜岡の環境向上

大部屋からシングルルームへの改修など利用者の動向・ニーズに応じた施設改修を進めるとともに、燃料代などランニングコストの低減をめざした取り組みについても進めます。

また、道の駅と同様に、外国人観光客の受入体制の充実に努めます。

#### ③絵本の館の環境向上

海外も含め町外からの来館者が増加することをふまえて、必要に応じて、館内の案内などを充実させます。

	取り組み内容（短期）	
	今後も推進、早めに実施・着手	中長期的には実施・着手
①道の駅の環境向上、ハイウェイオアシス化に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人観光客に対応した受入体制づくり</li> <li>ハイウェイオアシス化、スマートインターチェンジの整備に向けた要請</li> <li>利用者の変動、老朽化などに応じたトイレや駐車場の改善、改修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハイウェイオアシス化、スマートインターチェンジの整備に合わせた道の駅全体の改修、機能向上</li> <li>体験観光の案内など観光案内機能の設置</li> </ul>
②レークサイド桜岡の環境向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>シングルルームへの改修など宿泊棟の改修</li> <li>外国人観光客に対応した受入体制づくり</li> <li>利用者の変動、老朽化などに応じた施設の改修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>灯油に代わるエネルギー源の利用</li> </ul>
③絵本の館の環境向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>町外から来る人に合わせた案内表示などの充実</li> <li>外国人観光客に対応した受入体制づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本の展示、貸出以外の取り組み（新たな技術を活用した絵本の映像化、創作体験の場としての活用など）</li> </ul>

## (2) 剣淵の食の活用

### ①食をいかしたお土産づくり

農産物や地元商店の食材などをいかしてお土産をつくり、種類を増やします。また、現在販売されているお土産についても、購入者のニーズをふまえて改善し、売上を高めます。

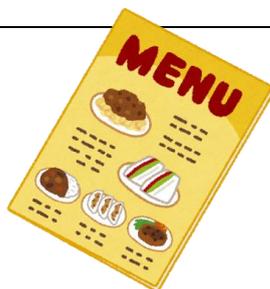
### ②食が楽しめる場や機会の充実

道の駅、レークサイド桜岡をはじめ、剣淵町の食材を使った料理、地元の味として親しまれている料理が食べられる飲食店などを、観光客向けに積極的に情報発信します。

また、統一の食材を使ったメニューを提供するフェアの開催など、飲食店主体の集客イベントを開催します。

なお、外国人観光客への対応として、外国語表記や写真入りメニューなどの普及に努めます。

	取り組み内容（短期）	
	今後も推進、早めに実施・着手	中長期的には実施・着手
①食をいかしたお土産の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の食材をいかしたお土産づくり</li> <li>消費者の声を取り入れた商品の改善</li> <li>食材のPR、商品開発につながる試食会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>剣淵町の「食」と加工・販売業者を結び付ける商談会の開催</li> </ul>
②食が楽しめる場や機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>剣淵町の食材が楽しめるお店、地元の味が楽しめるお店などの紹介</li> <li>町内の飲食店に外国人観光客が入りやすくするための、外国語や写真入りのメニューづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>剣淵産の食材を使ったフェアの開催</li> <li>有機栽培の食材によるメニュー、アレルギーの人でも食べられるメニュー、外国の食文化に対応したメニューなど、人にやさしいメニューの考案、提供</li> </ul>



### (3) 他の分野との連携

#### ①民間企業と連携した観光の振興

ビバアルパカ牧場をはじめ民間の観光事業者と連携し、体験観光やお土産開発、情報発信などを行います。

町内の商店と連携し、観光客向けの商品販売、商品開発などを行います。

#### ②農業と連携した観光の振興

町内の農業関連団体、個々の農家と連携し、農業体験、農産物を使ったお土産づくりなどを進めます。

また、観光農園や農家民泊など、農業を体験する機会の充実に努めます。

#### ③福祉と連携した観光の振興

北斗会など町内の社会福祉法人と連携し、高齢者や障がい者等の就労にも結び付く特産品やお土産の充実に努めます。また、福祉とのふれあいを観光につなげていく取り組みを進めます。

	取り組み内容（短期）	
	今後も推進、早めに実施・着手	中長期的には実施・着手
①民間企業と連携した観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の資源をいかした体験観光プログラムづくり、お土産づくり</li> <li>民間企業の持つネットワークをいかした情報発信</li> </ul>	
②農業と連携した観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業団体や農家と連携した農業に関する体験イベント、体験プログラムづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業に関する体験イベント、体験プログラムの定期的な開催</li> <li>観光農園、農家民泊の推進</li> </ul>
③福祉との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅や絵本の館などで販売している特産品やお土産の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特産品づくりの見学、農作業の体験など、福祉施設と連携した観光の取り組み</li> </ul>

## (4) 新たな観光資源の発掘、創造

### ① 新たな立ち寄り & 撮影スポットづくり

ドライブやサイクリングの途中で休むことができる場所や、写真を撮りたくなる撮影スポット、剣淵町の歴史を紹介する立ち寄りスポットなどを整備し、紹介します。

絵本の原画を収蔵・展示する施設や地元の食材を使ったお菓子づくりの拠点など、新たな観光スポットについても検討します。

### ② 新たな観光を考える機会の充実

自然や景観をはじめ、剣淵町の歴史や文化、教育や福祉などさまざまな視点から観光要素となりうるものを考える機会をつくり、剣淵町の新たな観光のスタイルを生み出していきます。

	取り組み内容（短期）	
	今後も推進、早めに実施・着手	中長期的には実施・着手
① 新たな立ち寄りスポットの整備、誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライブやサイクリングの途中で利用できる休憩スポットづくり</li> <li>・花等の植栽やサイン設置などまちなかの景観の向上</li> <li>・写真を撮りたくなるような撮影スポットづくり</li> <li>・商店街などで外国人観光客も含め観光客が入りやすい歓迎表示の推進</li> <li>・あべ弘土氏の絵（壁画）、剣淵神社、北剣淵駅などの立ち寄りスポット化、PR</li> <li>・絵本やお菓子などをいかした新たな立ち寄りスポットについての検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の原画を収蔵・展示する「(仮)絵本の里美術館」の整備</li> <li>・お菓子づくりの拠点「スイーツファクトリー」の整備</li> </ul>
② 新たな観光を考える機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・剣淵町の新たな観光資源についての意見交換、意見提案の場づくり</li> <li>・剣淵川下りツアーなど、剣淵川をいかした観光の振興</li> </ul>	



## 2 観光をつなげる

### (1) 町内での滞在を楽しんでもらう交通手段、情報提供、企画の充実

#### ①マイカー以外の移動手段の充実

高速バスや鉄道で剣淵町に来る観光客も、町営バスやレンタサイクルなどを利用することにより、町内の観光スポットを効率的に周遊できる環境づくりに努めます。

#### ②観光案内標識（サイン）の充実

町内を周遊する際に、各観光スポットまで安全かつ確実に到着できるよう、観光案内標識を改善・増加します。

#### ③町内の滞在や周遊を促す情報提供、企画の充実

ドライブやサイクリングにお勧めのルート、町内の飲食店やお店を紹介するマップなど、町内の滞在や周遊を促す情報提供を充実させます。

また、町内の滞在や周遊を促す企画を充実させます。

#### ④サイクリングやウォーキングのコース設定、普及

現在設定しているサイクリングコースのほか、広域での設定も含め、より長い距離のコース、幅広い年代で楽しめる短いコースなども検討し、設定します。

また、サイクリングの他にも、お散歩コース、フットパスなど歩いて回れるコースを検討し、設定します。

	取り組み内容（短期）	
	今後も推進、早めに実施・着手	中長期的には実施・着手
①マイカー以外の移動手段の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客に向けた町営バスの利用促進</li> <li>道の駅等でのレンタサイクルの常設</li> <li>タクシー会社等と連携したタクシーでの観光案内プランづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道利用の拠点として剣淵駅の環境や利便性の向上</li> <li>観光ガイドや地元の人による移送サービス</li> <li>旭川など多くの観光客が滞在する場所から剣淵町へのシャトルバスの運行</li> </ul>
②観光案内標識（サイン）の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>今ある観光案内標識の設置状況の把握</li> <li>既存の観光案内標識の改善や観光案内標識の新設</li> </ul>	
③町内の滞在や周遊を促す情報提供、企画の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドライブコースや飲食店マップなど既存のマップの普及</li> <li>町内周遊を促すラリーなどの企画</li> </ul>	
④サイクリングやウォーキングのコース設定、普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイクリングコースを紹介したマップの普及</li> <li>長い距離、短い距離など、新たなサイクリングコースづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内の風景や人との交流などが楽しめる散歩コース、フットパスづくり</li> </ul>

## (2) 観光推進体制の強化

### ① 剣淵町の観光を地域ぐるみで推進する体制づくり

地域ぐるみの観光をめざし、さまざまな立場の人が集まり、観光動向や市場ニーズを共有し、剣淵町の観光を考える体制づくりや機会の充実に努めます。

### ② 観光振興を担う人材・ネットワークの拡充

観光のマネジメントやプロモーションが得意な人材、外国人観光客に対応できるスタッフなど、観光を振興するうえで必要な人材の確保、ネットワークの拡充に努めます。

### ③ 観光を応援するサポーターづくり

体験プログラムの応援、通訳、広報媒体の作成や活動、民泊の提供など、それぞれの得意分野や好きな分野で、観光の取り組みを手伝ってくれる人達や店、企業などが登録できるサポーター登録制度をつくり、参加者や担い手の輪を広げます。

### ④ 広域観光の推進

上川総合振興局内の市町村など他の自治体と連携した体制をつくり、広域観光を進めます。

	取り組み内容（短期）	
	今後も推進、早めに実施・着手	中長期的には実施・着手
① 剣淵町の観光を地域ぐるみで推進する体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の里けんぶち観光地づくり推進協議会を通じた観光振興</li> <li>・剣淵町の観光に関わる人、関心がある人が集まり、観光について考える機会づくり</li> <li>・高校生や小中学生など子ども達と一緒に観光を考える機会づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着地型観光※の受入れ体制づくり</li> </ul>
② 観光振興を担う人材・ネットワークの拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客に対応できるスタッフの確保</li> <li>・観光マネジメントや観光プロモーションを進める人材（協力者）の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障がい者の観光受入に必要な人材の確保</li> </ul>
③ 観光を応援するサポーターづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光の取り組みを応援するサポーター登録制度の設立</li> </ul>	
④ 広域観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上川総合振興局内の市町村との連携した広域観光の推進</li> </ul>	

※剣淵町ならではの観光プログラムを企画し、参加者が現地集合、現地解散する観光のことです。

### 3 観光客を呼び込む

#### (1) 来訪を促すイベントの開催

##### ①道の駅でのイベントの開催

交流人口の拠点である道の駅を会場にイベント等を開催し、道の駅利用者が剣淵町に関心を持ち、観光するよう促します。

##### ②絵本にちなんだイベントの開催

絵本にちなんだイベントを開催し、子ども達や絵本の好きな人たちが剣淵町を訪れるきっかけをつくります。

##### ③農業や食にちなんだイベントの開催

じゃがいもプロジェクトなど農業や剣淵町の食にちなんだ集客イベントを開催し、剣淵町への来訪を促します。

##### ④イベントの見直し、新たなイベントの開催

既存のイベントの見直しやリニューアルを検討し、必要に応じて実施します。  
親子や三世代で参加できるイベント、高齢者や障がい者も参加できるイベントなど、年齢やハンディキャップに関わらず多くの人に参加できるイベントなど新たなイベントを開催します。

	取り組み内容（短期）	
	今後も推進、早めに実施・着手	中長期的には実施・着手
①道の駅でのイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅を会場としたイベントの開催</li> </ul>	
②絵本にちなんだイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客に向けた、絵本に関するイベントや企画のPR（古本まつりなど）</li> <li>新たな絵本に関するイベントの企画、開催（子ども対象の創作絵本コンテスト、絵本の語り部コンテストなど）</li> </ul>	
③農業や食にちなんだイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>剣淵町の農畜産物をいかしたイベントの開催</li> <li>剣淵高校（農業系）の生徒と連携した食のイベントの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>剣淵のお酒や食が一同に集まって楽しめるバルの開催</li> </ul>
④イベントの見直し、新たなイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>今行われているイベントの見直しやリニューアルの検討、（必要な場合は）実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子や三世代で参加できるイベントの企画（ファミリー対象のサイクルイベント、三世代対象のパークゴルフ大会、マツダ駅伝部の協力によるファミリー駅伝など）</li> </ul>



## (2) ツアー、合宿の誘致

### ①海外からの観光ツアーの誘致

タイをはじめ海外の旅行代理店に剣淵町の観光の魅力をアピールし、海外からの団体観光ツアーを誘致します。

### ②テーマ別観光によるツアーの誘致

旅行代理店と連携したテーマ別観光ツアーの誘致に努めるとともに、剣淵町ならではの観光プログラムを企画し、参加者が現地集合、現地解散する「着地型観光」を企画し、観光メニューとして定着させます。

特に観光客の少ない冬季の集客をめざした観光プログラムを充実させます。

### ③合宿の誘致

町内にあるスポーツ施設や宿泊施設の利用状況をふまえ、少年団や大学、企業などのスポーツ合宿を誘致します。

また、絵本の読み聞かせや合唱、演奏、演劇など文化系の合宿誘致やセミナーの開催についても検討します。

	取り組み内容（短期）	
	今後も推進、早めに実施・着手	中長期的には実施・着手
①海外からの観光ツアーの誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイの旅行代理店と連携したタイからの団体観光ツアーの誘致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本にちなんだ海外からのツアー（日本の絵本がたくさん見られる、買える、作れるツアー）の企画、誘致</li> </ul>
②テーマ別観光による国内外ツアーの誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域観光などのモニターツアーの参加</li> <li>剣淵町で集合・解散する「着地型観光」の検討、試行</li> <li>冬季に観光客を誘致できる観光プログラムづくり</li> <li>健康づくりや療養につながる観光プログラムづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道観光ルートへの剣淵町観光の組み入れ促進</li> <li>剣淵町発着のツアーの販売</li> </ul>
③合宿の誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>剣淵町への合宿誘致の可能性に関する調査</li> <li>スポーツ施設、絵本の館など地域の資源をいかした合宿誘致の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>剣淵町で可能な合宿メニューづくり、PR</li> <li>絵本の館を拠点とした文化系合宿の誘致（絵本文化塾、クリエイター合宿など）</li> <li>絵本をはじめ、文化系ものづくりを学ぶ合宿型セミナーの開催（絵本づくりが学べるセミナーなど）</li> </ul>



## 4 町外に情報発信する

### (1) インターネットやメディアを通じた情報発信

#### ① 町内の通信環境の向上

町内で観光客（特に外国人観光客）が情報を受発信できるよう、町内の主要な箇所に Wi-fi を整備するなど、通信環境を向上させます。

#### ② インターネット上での情報発信

インターネットを通じてタイムリーで細やかな情報発信に努めます。

また、多言語表記や動画などを活用し、外国人にもできるだけ多くの魅力や情報が伝わるように努めます。

#### ③ 国内メディアの活用

日頃、剣淵町の動向を掲載している新聞や地域の情報発信を行っている企業などに、積極的に観光情報や取り組みを提供します。

#### ④ 町外での情報発信

町外で行われるPRイベントなどに剣淵町が参加する際、観光に関する情報発信を積極的に行います。

#### ⑤ 外国人向けの情報発信の推進

現在交流が進んでいるタイやロシアを中心に、外国人に向けた観光情報の発信を積極的に行います。

	取り組み内容（短期）	
	今後も推進、早めに実施・着手	中長期的には実施・着手
① 町内の通信環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内の主要箇所での Wi-Fi 環境の整備</li> </ul>	
② インターネット上での情報発信の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>剣淵町観光協会ホームページや剣淵町観光協会公式 facebook などを通じた、より細やかな情報発信</li> <li>SNS 等を通じて町外に剣淵町の情報を発信する機会の拡大（町民や民間企業への参加促進）</li> </ul>	
③ 国内メディアの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞やテレビ、雑誌などへの積極的な取材協力、情報提供</li> </ul>	
④ 町外での情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>町外で行われるイベント参加時における情報発信</li> </ul>	
⑤ 外国人向けの情報発信の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイ人向け観光情報アプリでのPR、外国人に伝わりやすい動画配信</li> <li>海外メディアへの積極的な取材協力、情報提供</li> </ul>	

## (2) 特色ある取り組みを通じた情報発信

### ①農産物を通じた情報発信

町外で行われる農産物の販売イベントや販売活動、通信販売などを通じて、観光に関する情報発信を行います。

### ②絵本を通じた情報発信

絵本に関するイベントなどを通じて観光に関する情報発信を行います。

また、絵本を外国語に翻訳する取り組みを通じて、海外に向けて観光に関する情報発信を行います。

### ③映画を通じた情報発信

映画「じんじん」や「じんじん～其の二～」の上映、ロケ地との交流などを通じて、観光に関する情報発信を行います。

	取り組み内容（短期）	
	今後も推進、早めに実施・着手	中長期的には実施・着手
①農産物を通じた情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じゃがいもをはじめ農畜産物を通じた観光情報の発信</li> <li>・VIVA マルシェの活動を通じた観光情報の発信</li> <li>・じゃがいもプロジェクトで交流があった白老町など、他市町村との連携による相互の観光情報の発信</li> </ul>	
②絵本を通じた情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語に翻訳した絵本を通じた国外への観光情報の発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本に関する施設、絵本をいかしたまちづくりを進める地域等とのネットワークづくり、相互の観光情報の発信</li> </ul>
③映画を通じた情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スロー上映が続いている「じんじん」を通じた観光情報の発信</li> <li>・「じんじん～其の二～」ロケ地と連携した相互の観光情報の発信</li> </ul>	



### (3) ネットワークの活用した情報発信

#### ① 剣淵町ゆかりの人や企業等を通じた情報発信

剣淵町ふるさと大使をはじめ剣淵町にゆかりのある人や、マツダなど剣淵町との親交が深い企業などの協力を得て、観光に関する情報発信を行います。

#### ② キャラクター等をいかした情報発信

プッチーナなど町を代表するキャラクターをいかし、観光に関する情報発信を行います。

#### ③ 広域連携による情報発信

観光PRを広域や民間主体で行う機会に参加し、剣淵町の観光に関する情報発信を行います。

	取り組み内容（短期）	
	今後も推進、早めに実施・着手	中長期的には実施・着手
① 剣淵町ゆかりの人や企業等を通じた情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと大使、絵本作家との連携による観光情報の発信、観光PR</li> <li>・マツダとの相互交流を通じた相互での情報発信</li> <li>・観光客、来訪者を通じた観光情報の発信（剣淵ファンの拡大）</li> </ul>	
② キャラクター等をいかした情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゆるふわ通信」やぷっちな主体の観光情報の発信</li> <li>・名刺やはがきなどを通じた観光情報の発信への参加呼びかけ（名刺台紙などを町民や町内企業に積極的に利用してもらう）</li> <li>・ぷっちな、びばがらす、ぷっちーもなど剣淵町ゆかりのキャラクターの積極的な活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターを用いた包装紙、レジ袋などの普及</li> </ul>
③ 広域連携による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域で行う観光PRの場を通じた観光情報の発信</li> </ul>	